

吾妻山

○火山活動度レベル 1 [静穏な火山活動]

○概況

火山性地震の回数は、7月頃から増加傾向が認められますが、噴煙活動、地殻変動に変化はなく、静穏に経過しました。

・噴煙活動（図2）

遠望観測（監視カメラ：大穴火口の東北東約14km）では、悪天のため山体の见えない日が続きましたが、大穴火口（一切経山南側山腹）の噴気は観測されず低調な状態が続いています。

・地震活動（図3）

火山性地震は57回（7月85回）と7月頃から増加傾向が認められますが、振幅の大きな地震はありませんでした。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動（図4～7）

山体周辺で行っているGPS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

大穴、旧火口付近で実施したGPS繰返し観測では、大穴・旧火口付近の地下で収縮を示す地殻変動（各観測点の地点間距離が縮まる変化）が鈍化する傾向が観測されました。

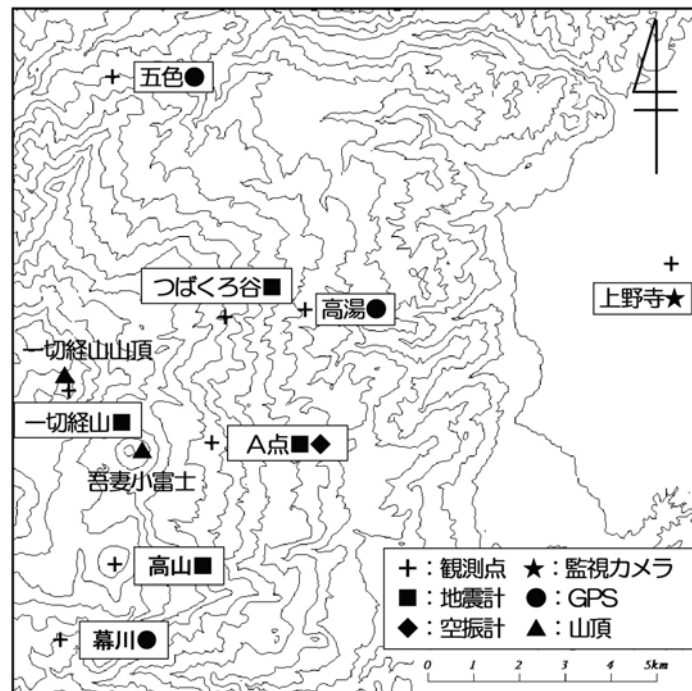


図1 吾妻山 観測点配置図

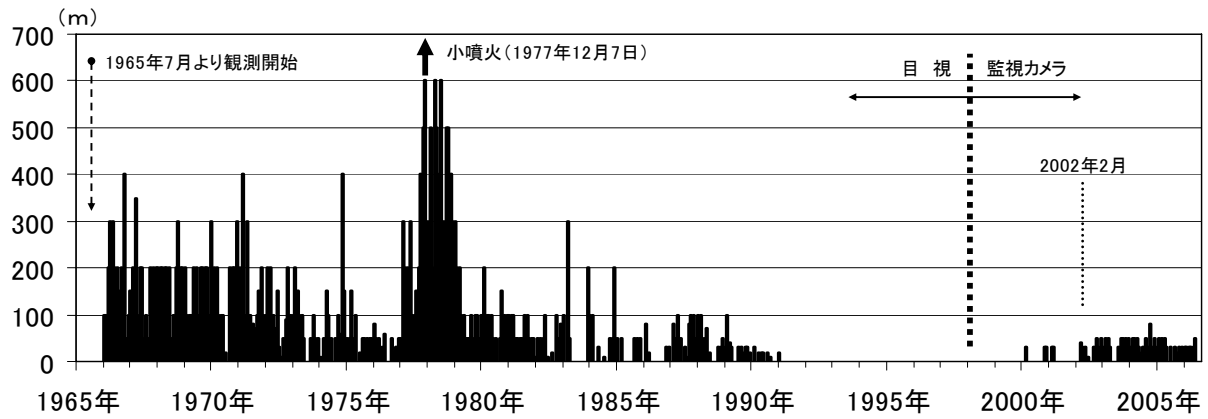


図2 吾妻山 月別最大噴気(噴煙)高(1965年7月～2006年8月)

1998年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約20km）から目視観測
 1998年から監視カメラ（大穴火口の東北東約14km）による観測
 2002年2月以前は定時(09時, 15時)及び随時観測による高さ。
 2002年2月以後は全ての時間を収録データから観測した高さ。

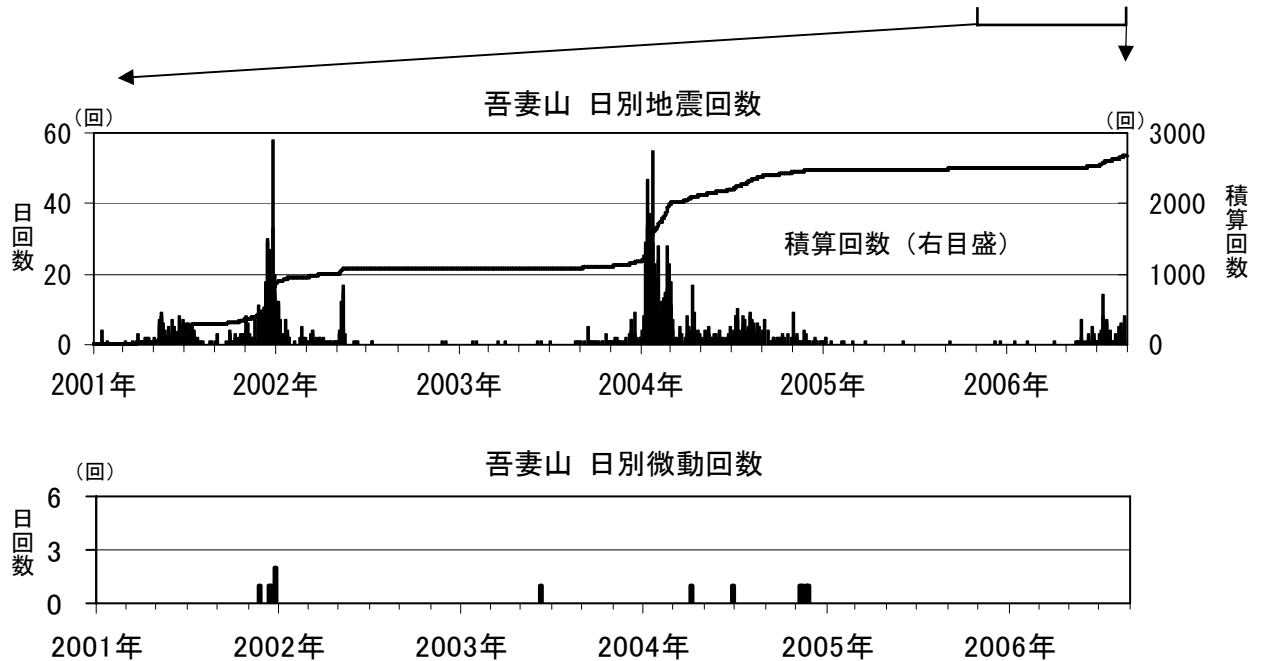
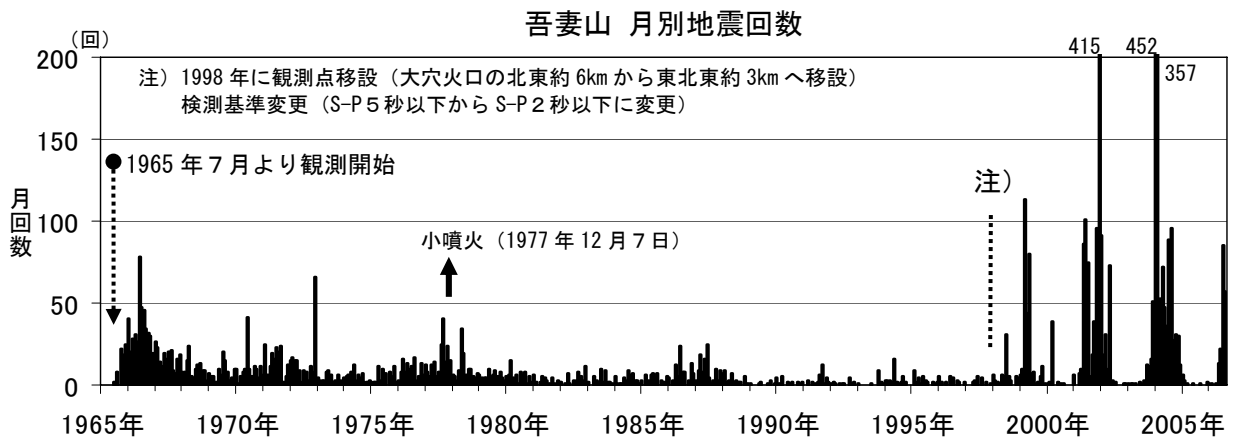


図3 吾妻山の地震回数および微動回数

月別地震回数（1965年7月～2006年8月）
 日別地震回数（2001年1月～2006年8月）
 日別微動回数（2001年1月～2006年8月）

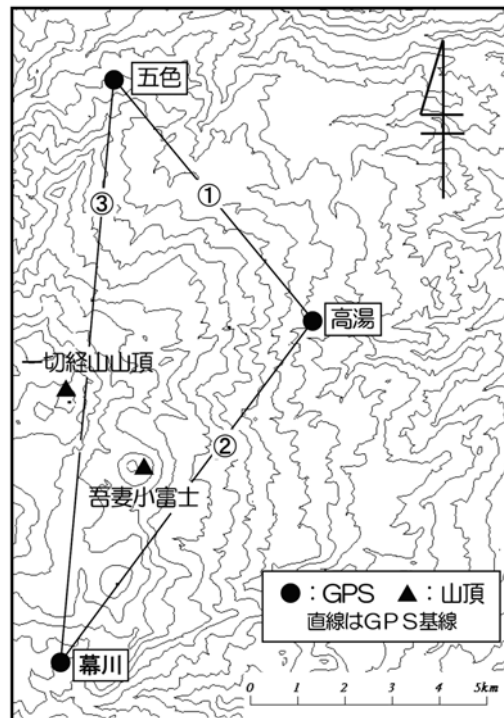


図4 吾妻山 GPS 観測点配置図

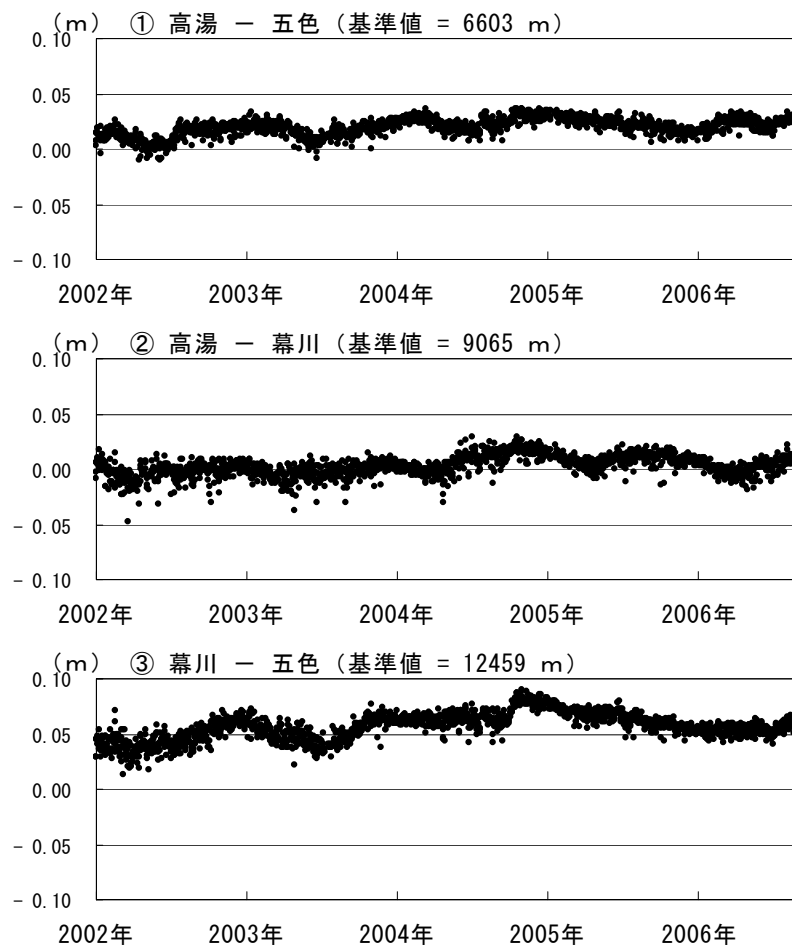


図5 吾妻山 GPS 基線長変化図 (2002年1月～2006年8月)

GPS 繰り返し観測の結果

8月25日～28日に大穴・旧火口周辺部で行ったGPS繰り返し観測を行いました。これまでの大穴・旧火口付近の地下で収縮を示す地殻変動（各観測点の地点間距離は縮まる変化）が鈍化する傾向が観測されました。

地震活動が活発化した2003年秋から2004年秋にかけては、大穴・旧火口付近の地下で膨張を示す地殻変動（各観測点の地点間距離は伸びる変化）が観測され、その後は、大穴・旧火口付近の地下で収縮を示す地殻変動が観測されていました。

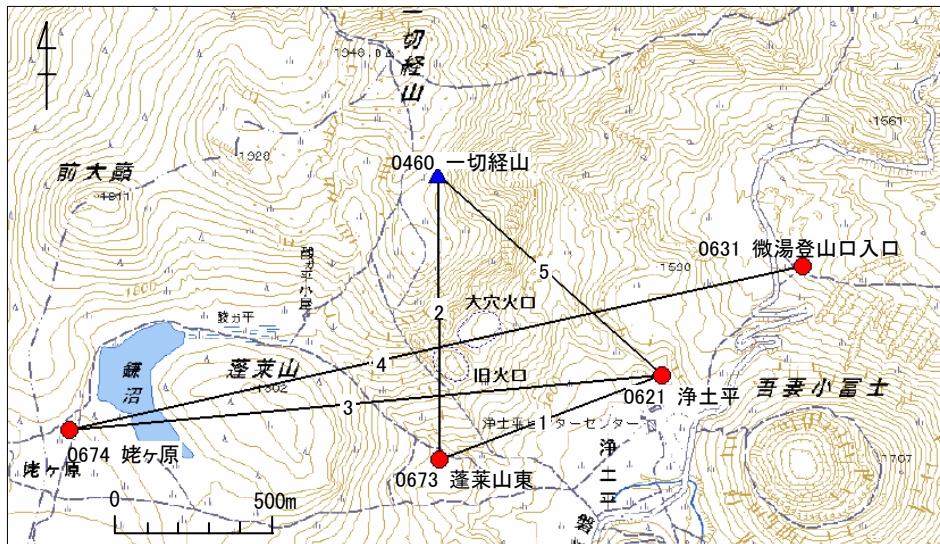


図6 吾妻山のGPS 繰り返し観測の各観測点および基線の位置

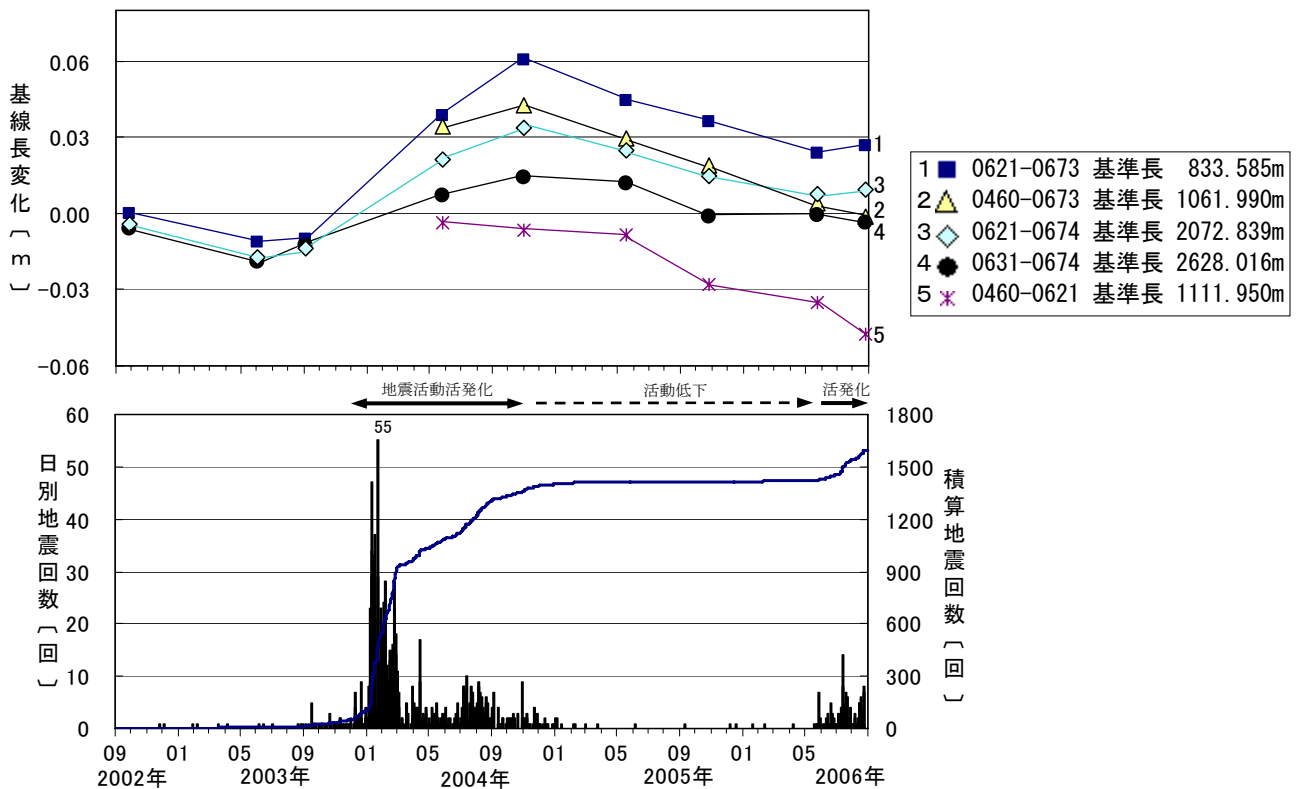


図7 吾妻山の日別地震回数及びGPS 繰り返し観測による各観測点間距離の変化図

GPS 繰り返し観測の各観測点および基線の位置は、図6に示す。